

検査項目の説明

検査項目	目的・意義など
問診	健康チェック票（問診票）の確認。通院歴、家族歴、自覚症状などを確認します。
身長体重、体脂肪	痩せ・肥満の度合いを調べます。
腹囲	へそ周りを測定します。男性は85cm、女性は90cmが基準値です。メタボリック症候群の指標で基準値を超えると生活習慣病への危険が大きくなります。
血圧	血圧は自動血圧計で測定します。ストレスや睡眠不足などさまざまな要因によって変動します。
5m視力	近視や遠視の程度がわかります。
聴力	聴力の低下をチェックします。
肺機能	息を吸ったり吐いたりして、肺の機能を評価し異常がないかを調べます。
眼圧	眼の圧力を計るため、空気を眼球に吹きかけ、角膜のへこみ具合を数値であらわし、緑内障や網膜剥離などを調べます。
眼底	緑内障や白内障などの眼の病気や網膜、視神経、細かい血管を観察します。糖尿病、高血圧、動脈硬化といった血管の変化を調べます。
心電図	安静の状態で不整脈や心筋梗塞などの心疾患を調べます。
胸部X線	肺炎・肺結核・肺がんなど肺疾患、心臓肥大、大動脈、肋骨などを調べます。
胃部X線	バリウムを飲んで行うX線検査で食道・胃・十二指腸の腫瘍、潰瘍、ポリープ・憩室等を調べます。
腹部超音波	超音波で肝臓・胆のう・腎臓・膵臓・脾臓の腫瘍や結石、嚢胞などを調べます。一部、膵臓など体格や消化管ガスの影響で観察が十分できない場合があります。
便潜血	便に含まれる血液（潜血）の有無を調べます。精度を上げるため2日分の便を提出していただきます。（大腸癌・大腸ポリープ・大腸憩室・潰瘍性大腸炎などの可能性がチェックできます。）
尿検査	尿蛋白、尿潜血、尿糖を調べます。
内科診察	医師診察により心雑音や肺音の異常・甲状腺の腫れ等、他覚所見などを調べます。

血液検査	
検査項目	目的・意義など
肝機能	急性・慢性肝炎や肝硬変など肝臓障害を調べます。
脂質	血液中の脂肪を測定し、脂質異常症・動脈硬化症などを調べます。
糖質	糖尿病の早期発見や程度を調べます。
腎機能	腎臓と尿の経路の異常を調べます。
膵機能	膵臓から分泌される酵素により膵疾患を調べます。
電解質	電解質のバランスを調べます。
尿酸	痛風（高尿酸血症）を調べます。
免疫・感染	膠原病や肺炎・感染症などを調べます。
血液一般	貧血や炎症の有無、また白血病などの血液疾患を調べます。
腫瘍マーカー	腫瘍による特殊な蛋白質を調べます。
肝炎ウィルス	肝炎ウィルスによる感染の有無を調べます。
ペプシノゲン	血液検査で萎縮性胃炎の有無を調べます。